



動画撮影のこっシブやんに聞く

楽しそうな雰囲気 大事に

八木山ベニーランド(仙台市太白区)の名物スタッフ渋谷悠斗さん(シブやん)は2年前に投稿を始めるまでは「動画を作ったことがなかった」と言います。どうして楽しい動画を作れるようになったの？シブやんが教えてくれるこつを、みんなも参考に、撮影に挑戦してみよう。(1面に関連記事)

「面白いと思った動画とにかく見まくりましたね」とシブやん。バズってる動画は「何が面白いのか」を自分なりに研究したそうです。撮影するスマホの使い方、音楽の流し方、出演者の表情の管理……。上手だと思うポイントを探って、自分の動

画に取り入れるならどうすればいいかを考えたんだって。シブやんが作る動画は企画、撮影、編集の全てを本人が手がけます。使う道具はスマートフォンと編集用のパソコン、三脚。投稿サイトには、撮影や編集のノウハウを解説した動画が多くあり、技術も動画を見て学んだそうです。

制作する上で一番大事なことは「楽しそうな雰囲気」。技術的にどんなにすごくても、気持ちが乗らずに撮影していたら見る人に楽しさは伝わりません。「楽しそうな表情で」「身振り手振りは大きく」「めっちゃ動いて」と、ポイントをアドバイスしてく

れました。

周りの安全とルールを守ることも大切です。ベニーランドでは、ほとんどのアトラクションで乗りながら撮影するのはNGだそう。ルールを守れば問題はなく、シブやんは「ぜひ、観覧車の前で踊ってほしい」と歓迎しています。ティックトックで好評だった動画「パート89 コレ、流行(はや)ります」をどうやって撮影したかをシブやんに解説してもらい、記者が動画に収めました。本編と見比べて、撮影の参考にしてみてね。



シブやんの解説動画はこちら

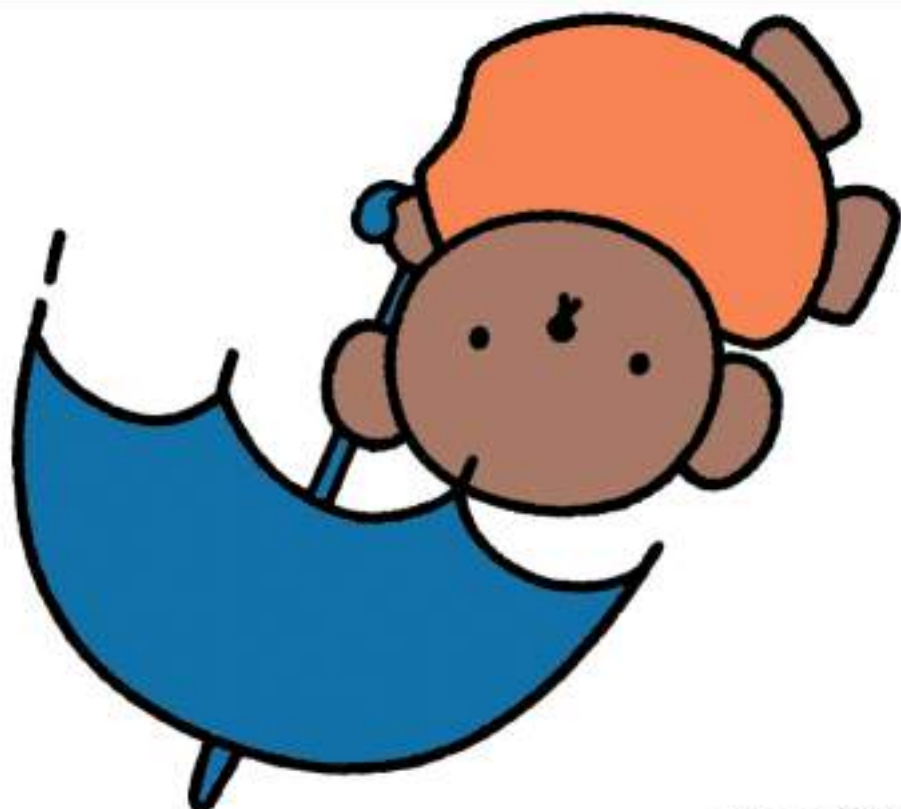
「動画見ってます!」。八木山ベニーランドのシブやんは取材中も次々と声をかけられる人気者。担当するミニサイクロンは「3歳から乗れる」が売りの、家族向けジェットコースターです。元気な笑顔のシブやんが時折、真剣な表情になって機械を操作しているのが印象的でした。お客を安全に楽しませようとする「おもてなし」のプロがそこにいました。(セ)

編集後記

撮影前にスマートフォンを準備する渋谷さん
|| 仙台市太白区の八木山ベニーランド



渋谷さんが撮影に使うスマートフォン、パソコン、三脚



ブルーナ絵本展

dick bruna

zijn werken voor prentenboeken



「しろなかひめ」挿絵 1966年 「うたごえんへのうた」印刷挿絵 2004年 「うたごえん おとまりこいこ」挿絵 1988年

2024年8月3日[土]ー25日[日]

東北福祉大学ギャラリーミニモリ

午前10時ー午後5時(入場は閉館30分前まで) 仙台市宮城野区福岡2-5-26

前売券 好評販売中

チケット料金: 一般 1,100円(1,300円)
高校生 700円(900円)
小中学生 500円(700円)

プレイガイド / アソビュー!、ローソンチケット(Lコード:22991)、セブンチケット(セブンコード:105-981)

※1)内は当館料金は、※料金はすべて税込み。※本誌学究入場無料
※観覧会の詳細は公式サイト(https://bruna2023.exhibit.jp/)にてご確認ください。

主催:河北新報社、仙台放送、朝日新聞社、社説 特別協力:仙台市、東北福祉大学
企画協力:ディック・ブルーナ・ジャパン、Mercis by 協力:種彦書房、講談社、白泉社

Illustrators: Dick Bruna © copyright Mercis by 1953-2024 www.miffy.com